



第五回

～滝上高校の軌跡～

第五回目は滝上高校の快挙の一つである高体連ラグビー全国大会出場を経験された大原勝彦さんにインタビューしました。

Qどんな高校生活でしたか？

自由な時代でした。怖い先生もいたけれど優しい先生も多かった。非行に走るとすぐに教頭先生が激をとばして怒っていた。

ラグビー部の顧問の増谷先生は情熱をもって生徒に指導してくれていた。人情に熱い人で、勉強して進学したいという子の面倒を担任でなくともみてくれたり、ラグビーの遠征の時にも引率の職員を声掛けしてきちんと確保してくれたりと面倒見のいいところがあった。かかいう私も、卒業後に増谷先生に就職の相談に乗ってもらったこともあった。

滝上町の人口がまだ6千人位の頃、生徒はクラブに打ち込む人と勉強に打ち込む人半々位で、私のクラスは40人中13人しか男子がおらず女子の方が多かった。男子のうち9人がラグビーに打ち込んでいた。

Qその頃のラグビー部とは

平日の毎日の練習はきつかり2時間で午後4時から午後6時までと決まっていた。土日は朝から晩までみっちり練習、遠征は芦別町

と決まっていた。

あのころの戦績は高校2年の時で、全道新人戦に出場し優勝した。高校3年の春季リーグは函館開催の全道大会で旭川竜谷高校と対戦し負けてしまつて2位。夏の高体連では美幌や遠軽が強敵だったが破つて地区大会優勝。その後、美幌で開催された北海道大会では決勝で旭川竜谷と再戦し、22対0の快勝。そこで全国大会へ出場できた。



第55回全国ラグビーフットボール大会の写真

Q全国大会を振り返ると？

幸い全国大会まで行けたのは、同じ学年にラグビーに真剣に打ち込む仲間が沢山いたこと。1年生よりも経験のある3年生が多い方がもちろん強い。その3年生が1

1人もいた。当時強かった美幌も3年生の割合が多かったので強かった。また滝上は体格にも恵まれたやつが多かつたのも強さの一因だと思う。

☆北見管内地区予選、北海民友新聞掲載

滝上初優勝飾る 高校ラグビー



全国大会出場選手名簿	
選手名	所属校
大原勝彦	滝上高校
...	...

当時の民友新聞の記事

当時の記事を見せて頂くと、北見管内の地区大会は民友新聞で滝上の圧倒的な強さで初優勝を飾つたと報じられており、全道大会の結果は毎日新聞で突進力が素晴らしい、旭川竜谷を防戦一方に追い込んでいたと書かれています。

滝上高校のラグビー部がどれだけ強くあつたのか改めて知る事が出来ました。大原さん、貴重な当時のお話や写真をありがとうございます。